

令和6年度 第2回 小平市公民館運営審議会 会議要録

1 開催日時

令和6年6月11日(火)午後2時から午後3時30分まで

2 開催場所

小平市中央公民館 講座室2

3 出席者

小平市公民館運営審議会委員11名 欠席1名

事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、分館担当係長10名

4 傍聴者

3名

5 配布資料

資料1 小川駅西口新公共施設等の概要

資料2 小川複合施設条例等のイメージ

資料3 小川複合施設の指定管理に係る仕様書等イメージ

資料4 令和6年6月市議会定例会一般質問(公民館関係)抜粋

資料5 令和6年度夏休み学習室

資料6 令和6年度小平市公民館定期講座実施状況表

資料7 令和6年度東京都公民館連絡協議会定期総会議案書(抜粋)

資料8 令和6年度小平市公民館利用者懇談会等連絡協議会総会資料(抜粋)

資料9 令和5年度小平市公民館事業実績(案)

参考資料(机上配布)

公益社団法人全国公民館連合会第13回定時総会資料(抜粋)

6 議事

○報告事項

(1)小川駅西口新公共施設関連(地域コミュニティ担当課長)

(2)館長報告

・小平市議会6月定例会公民館関連

・令和6年度夏休み学習室

(3)令和6年度公民館定期講座等実施状況(令和6年6月時点)

(4)令和6年度東京都公民館連絡協議会

・定期総会

・職員部会

・委員部会

- ・その他
- (5) その他
 - ・令和6年度公民館利用者懇談会等連絡協議会定期総会
 - ・令和5年度小平市公民館事業実績(案)

○協議事項

7 その他

- (1) 各委員からの確認及び連絡、情報共有等
- (2) 事務連絡

(以下、小平市公民館運営審議会は本審議会、東京都公民館運営審議会は都公連という。)

【会議の概要】

○報告事項

- (1) 小川駅西口新公共施設関連(地域コミュニティ担当課長)

資料1から3に基づき地域コミュニティ担当課長から説明

(意見及び質疑)

矢島委員

複合施設と指定管理者制度は別の話だと思うが、同じタイミングで行う必要があるのか。

地域コミュニティ担当課長

移転に伴い、小川西町公民館、小川西町図書館、小平元気村おがわ東にある「あすぴあ」「ひらく」が複合化される。指定管理者が一元的に管理運営することで、複数機能の相乗効果が発揮しやすくなり、一体的な施設運営が期待できると考えた。

矢島委員

指定管理者制度の導入によって効率化できる部分があるということか。

地域コミュニティ担当課長

各施設機能を個別に運営するよりも、指定管理者が複数の機能を担うことで、一体的な管理運営が実現しやすくなると考えた。

令和4年度に「管理運営に係る検討の方向性」を提示した際には、「なるべく広い業務領域」を指定管理者が担う方向で検討していたが、その後の意見交換などを通じて、公民館事業の企画運営については、これまでの積み重ね等も踏まえると継続して市職員が直接行う方が望ましいという意見が多かったことから、資料の運用案になっている。

田尻委員

条例の提出はされたのか。また、既に指定管理者の公募はされているのか。

地域コミュニティ担当課長

条例はまだ提出していない。早くても9月議会以降となる。また、指定管理者の公募は、条例が議決され、制定された後になる。

田尻委員

指定管理者の選考基準は資料3に記載されている内容か。

地域コミュニティ担当課長

指定管理者が行う業務内容のイメージが資料3になる。応募者は仕様書の内容を踏まえて提案をする。各応募者の提案内容を審査することになる。

長澤（成）委員

教育機関に指定管理者制度を導入することに疑問がある。そもそも指定管理者制度がどのようなものかを議論する必要がある。2003年に指定管理者制度が最初に導入された際は、市民サービス向上と経費節減という理由であった。

直営よりコストカットができるというものを具体的に示さなければ直営で良いという議論になる。川崎市では市民館と図書館で指定管理者制度を導入した際に、3,600万円のコストカットができると説明しているが、小平市では具体的な金額の検討をしたのか。

地域コミュニティ担当課長

仕様書の内容が定まっていないため明確な金額は出していないが、コストカットを目的として指定管理者制度の導入をすることは難しいのではないかと考える。働き手が少なくなってきたおり、一定の賃金水準がなければ人材の確保も難しい。業務の効率化によるコストカットは望めるにしても、人件費のカットは難しいものと認識している。コストが直営よりも上回らない範囲で、一体的な管理運営による相乗効果等のメリットに期待して、導入を考えている。

長澤（成）委員

指定管理は期間が限定される。現場で働く人は力量形成ができないので継続性や安定性が担保されないという問題があると思う。専用の施設や部屋を持つことはとても重要である。コワーキングスペースと専用の施設を持つことはできたのではないか。

部屋の承認等を指定管理者に委ねることは公民館の事業を実施するのに支障がないか不安を感じる。現在は承認等を教育委員会が行っているが、今後小川西だけ指定管理者に委ねるように改正するのか重要になると思う。公民館条例の改正に利用の承認等は大きな問題になると思うが、どのように考えているのか。

地域コミュニティ担当課長

条例でどのような表現をすることが適切であるか、今後検討していく。

(2) 館長報告

- ・小平市議会 6 月定例会公民館関連
資料 4 に基づき説明
- ・令和 6 年度夏休み学習室
資料 5 に基づき説明
- ・冷房設備の不具合について
冷房が使用できない状況にあり、7 月上旬ころに復旧を見込んでいる。
- ・その他
夏の省エネ対策として、今年度も中央公民館と、一部の分館を除く各館において「緑のカーテン」の取組みを実施する。また、5 月から 10 月末日までクールビズとして、職員の軽装を実施する。

(意見及び質疑)

なし

(3) 令和 6 年度公民館定期講座等実施状況（令和 6 年 6 月時点）

(意見及び質疑)

なし

(4) 令和 6 年度東京都公民館連絡協議会

- ・定期総会
資料 7 に基づき管理担当係長から説明
- ・職員部会
上宿公民館分館担当係長から説明
- ・委員部会
宗像委員から説明
今年度の活動方針については、事業計画及びテーマの策定することが承認された。
- ・その他
資料 7 及び参考資料に基づき管理担当係長から説明

(5) その他

- ・令和 6 年度公民館利用者懇談会等連絡協議会定期総会
資料 8 に基づき館長補佐から説明
- ・令和 5 年度小平市公民館事業実績(案)
資料 9 に基づき館長補佐から説明

(意見及び質疑)

多田委員

抽選に落選した人もオンラインで受講できるようにしたら良いと思う。

館長補佐

分館の会計年度任用職員を対象に研修を実施して、オンラインによる講座が開設できるように体制を整備する予定である。

矢島委員

講座の応募に対して、定員に満たないもの講座数が全体の4分の1程度、定員に対しオーバーしているものは半分程度ある。適正值は、どのように考えているか。講座の内容により定員割れを起こすのは仕方ないが、全体の2割程度に定員割れを抑え、その他は定員を満たせるように方針を考えた方が良くと思う。

館長

数値として適正值の設定はしていない。全講座で定員どおりの受講が望ましいと考えている。芸術等の講座は人気が高いが、福祉や環境に関する講座は、定員割れを起こす傾向にあると捉えている。今後は社会的な課題の講座にも受講者が増加するよう検討していきたい。

また、適正值等の指標の設定は重要だと思うので、併せて検討していきたい。

日部委員

毎年度、新しい講座が設定されるが、どのように設定していくのか。また、同一の受講者が複数の講座を受講していると見受けられるが、新しい受講者を募る工夫はあるか。

館長補佐

分館では各館の事業企画委員会で講座を決定している。分館担当係長が講座の種別のバランスを見ながら講座の設定をしていく。

重複する受講者については、各館における募集や広報の仕方を工夫することを検討している。中央公民館では、若者を対象にしたキャンプ講座では、企業と連携して広報を行った。

会長

事業企画委員会の傍聴については、分館担当係長に連絡をして傍聴をしてもらいたい。

○協議事項

なし

3 その他

(1)各委員からの確認及び連絡、情報共有等

・細江委員

令和6年6月29日(土)に株式会社ブリヂストンで開催する夏まつりを案内する。

・会長

令和6年6月30日(日)に中央公民館のホールで開催する「複合施設の中の公民館」を案内する。

・加藤委員

東京学芸大学で開催する公民館に関連する公開講座を案内する。

(2) 事務連絡

事務局より次回の公運審の開催予定について説明する。